

---

# 毒蛇の罪

Yuki\*

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

毒蛇の罪

### 【Nコード】

N6868F

### 【作者名】

YUKI\*

### 【あらすじ】

貴方の隣、毒蛇がいませんか？それとも、貴方が毒蛇ですか？

自分が毒を持っていることを知らない毒蛇がいた。

毒蛇は兔が好きだった。白くてふわふわ、丸々とした可愛らしさ。一度話しかけてみたいと思っていたけれど、兔は毒蛇の姿を見て逃げていく。

毒蛇は静かに俯く。……自分が毒を持っていて、兔にとって危険でしかないことを知らなかったから。

でも一匹だけ、毒蛇と仲良くしてくれた兔がいた。兔は毒蛇の外見を、その毒を、全く恐れなかった。孤独な毒蛇の話を聞き、滑稽な話で笑わせ、……唯一無二の友達になった。

毒蛇はこの兔が大好きだった。

逢える時は、嬉しさに体を躍らせた。

逆に逢えない時は、寂しさに土を噛み締めた。

ある時、毒蛇は兔と喧嘩した。

原因は簡単。兔が、毒蛇との約束よりも、同じ兔達との約束を優先させたから。

兔の立場から考えれば、それは当たり前のこと。

群れで暮らす仲間との関係を悪くすれば、暮らしにくくなる。命にも関わるかもしれない。

でも、毒蛇は？ …… たった一匹、決して自分に害を与えようとしていない。

それは感情論ではなくて、損得勘定。

毒蛇は怒った。

自分にとって、これ以上大切なモノがないくらい大切な兔が、自分を蔑ろにしたから。<sup>ないがし</sup>

そして怒りのあまり 兔の足に、噛み付いた。

毒蛇にとって、それはちよつとした仕返しだった。  
本当にちよつとした、じゃれあいと大差ない力量。  
でも毒蛇は、毒蛇だった。

兔は自分の身に回る毒を、毒蛇に隠し続けた。  
足の傷が、膿んで腫れる。食欲がなく痩せて、一歩歩くのさえや  
つとの状態。

それでも兔は、毒蛇のもとを訪ね、明るく話し続けた。  
毒蛇が怒り、噛み付いたのは、自分が悪いから。  
そして何より、… 兔にとって毒蛇は、大切な友達のひとりだった  
から。

毒蛇が気づいたのは、目の前で兔が倒れ、痙攣し、動かなくな  
ってから。

そして自分のつけた傷が、膿み、青く腫れ上がっているのを見た  
時。

そうしてやっと、毒蛇は自分が毒蛇であることに気づいた。

嘆いても、もう遅い。

兎はもう動かない。時間は巻き戻らない。  
あとに残されたのは、毒を持つ穢れた我が身だけ。  
。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6868f/>

---

毒蛇の罪

2011年1月5日14時36分発行